

広島市の犯罪情勢

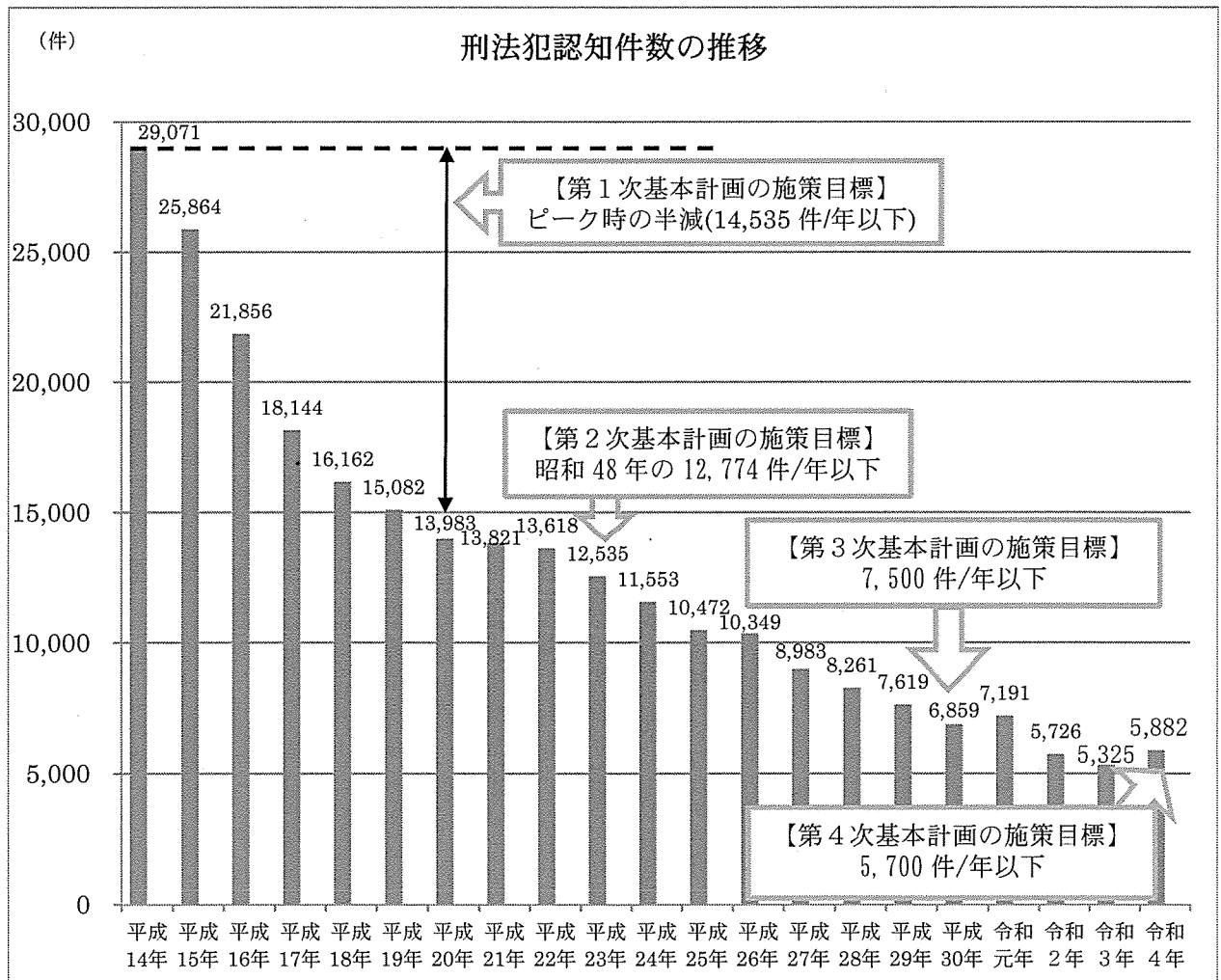
1 基本計画に掲げた施策目標

第4次広島市安全なまちづくりの推進に関する基本計画(令和3年3月策定)において、次のような施策目標を掲げています。

- 刑法犯認知件数を年間 5,700 件以下とします。
- 市民の安心感の向上のため、不安に感じる犯罪の認知件数を年間 2,600 件以下とします。

2 刑法犯認知件数の推移

令和4年の刑法犯認知件数は5,882件となっており、前年の令和3年と比較して557件の増(10.5%増)となっています。この要因として、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症対策が徐々に緩和され、外出する機会がこれまでと比べて増加した影響等が考えられます。



資料：広島県警察提供

令和5年1月から9月までの刑法犯認知件数は5,236件となっており、令和4年の同期間と比較すると908件の増(21%増)となっています。今後さらに増加することも懸念されるため、引き続き犯罪情勢の動向を注視する必要があります。

単位：件

区分	令和5年	令和4年	増減	
	1月～9月	1月～9月	件数	率
刑法犯認知件数	5,236	4,328	908	21.0%

資料：広島県警察提供

### 3 不安に感じる犯罪の認知件数の状況

刑法犯認知件数のうち自転車盗や器物損壊など8罪種について、「不安に感じる犯罪」と定義し、第4次基本計画では、年間2,600件以下を施策目標としています。令和4年の「不安に感じる犯罪」の認知件数は2,620件で、前年の令和3年と比較して316件の増(13.7%増)となっています。

不安に感じる犯罪の認知件数の状況

(単位：件)

区分	令和4年	令和3年	増減数	増減率 (%)	(参考)	
					令和元年	平成14年
自転車盗	1,482	1,168	314	26.9 %	1,803	6,225
車上ねらい	149	160	▲11	▲ 6.9 %	219	1,985
器物損壊等	669	614	55	9.0 %	808	2,743
侵入強盗	4	3	1	33.3 %	1	17
侵入窃盗	174	202	▲28	▲ 13.9 %	356	3,109
住居侵入	78	108	▲30	▲ 27.8 %	132	298
性犯罪(不同意性交等、不同意わいせつ)	64	49	15	30.6 %	101	194
総 数	2,620	2,304	316	13.7 %	3,420	14,571

資料：広島県警察提供

令和5年1月から9月までの不安を感じる犯罪の認知件数は2,486件となっており、令和4年の同期間と比較すると569件の増(29.7%増)となっています。

これは、自転車盗の増加が主な要因であり、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症対策が徐々に緩和され、外出する機会がこれまでと比べて増えた影響等が考えられます。

#### 不安を感じる犯罪の認知件数の状況

(単位：件)

区分	令和5年	令和4年	増減数	増減率 (%)
	1月～9月	1月～9月		
自転車盗	1,531	1,052	479	45.5 %
車上ねらい	118	119	▲1	▲0.8 %
器物損壊等	517	502	15	3.0 %
侵入強盗	2	3	▲1	▲33.3 %
侵入窃盗	172	141	31	22.0 %
住居侵入	80	55	25	45.5 %
性犯罪(不同意性交等、不同意わいせつ)	66	45	21	46.7 %
総数	2,486	1,917	569	29.7 %

資料：広島県警察提供

#### 4 子ども・女性に対する声かけ等の把握状況

令和4年の子ども・女性に対する声かけ等の把握件数は1,220件で、令和3年の把握件数と比較すると137件減少(子ども・女性いずれの把握件数も減少)していますが、依然高い水準で推移しています。

単位：件

区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
子ども	594	583	621	519	555	506
女性	906	871	844	782	802	714
合計	1,500	1,454	1,465	1,301	1,357	1,220

資料：広島県警察提供

令和5年1月から9月までの子ども・女性に対する声かけ等の把握件数は926件で、令和4年の同期間と同程度の件数となっており、依然高い水準となっています。

単位：件

区分	令和5年	令和4年	増減	
	1月～9月	1月～9月	件数	率
子ども	400	370	30	8.1%
女性	526	538	▲12	-2.2%
総数	926	908	18	2.0%

資料：広島県警察提供

## 5 特殊詐欺被害の状況

令和4年の特殊詐欺被害の認知件数は110件、被害額は約3億2,800万円で、被害額については、令和3年と比較すると2倍以上に増加しました。

区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
認知件数 (件)	175	90	95	52	96	110
被害額 (万円)	38,939	16,904	17,221	7,363	14,913	32,846

資料：広島県警察提供

令和5年1月から9月までの特殊詐欺被害の認知件数は119件、被害額は約3億2,200万円で、令和4年の同期間と比較すると認知件数は7割、被害額は約2割の増となっています。

区分	令和5年	令和4年	増減	
	1月～9月	1月～9月	件数・額	率
認知件数(件)	119	70	49	70.0%
被害額(万円)	32,217	25,990	6,227	24.0%

※被害額は千の単位を四捨五入した概算

資料：広島県警察提供